

DISC 5



外伝「三千界の匣、わだつみの深淵」

01 ラブソディ・アリア

ピチカの唄としてCVの大原さやかさんに歌って頂きました。「セイレーン族の透明感」「伝承歌としての素朴な感じ」を表現しつつ、シナリオ担当者から「詞の印象をつけずに場面を表現したい」という希望に合わせてハミングにしています。歌声が綺麗に響くように、セイレーンの里のBGM「凍て海に響く歌」とは曲の調(キー)を変えています。(山上 毅)

02 わだつみの憧憬

海底探索という胸躍るキーワードを元に想像を膨らませて作曲しました。前半部分はハーブやピアノなどで海中の幻想的な風景を表現し、後半はがらりと曲調を変えてワクワクするような冒険感を表現してみました。そして海の中のおぼく音も曲の中にさりげなく同化させています。この曲が皆さんの新たな海底探索へ誘う一助になれば幸いです。(林 茂樹)

03 凍て海に響く歌

人魚の姿をしたセイレーン族の街の曲です。「住む人々の穏やかさ」「幻想的な世界」「氷のイメージ」をゆったりとしたテンポとピアノのメロディーで表現しています。この曲はピチカの唄「ラブソディ・アリア」のインストバージョンなのですが、この物語をプレイしている人に「メロディー」を印象づけるために意図的にそうしています。(山上 毅)

04 嵐の大洋

どこか惹き込まれてしまう神秘的な色彩&美しさも感じるラストダンジョン。この曲は、希望と不安という心情の混在を表現し、徐々に気持ちが高揚するような展開を心がけ、壮大さを表すパートも盛り込みました。音楽から、強靱な意志を持って運命に挑み行く「内に秘めた情熱」も感じて頂けたら嬉しいです。(桐岡麻季)

05 禍ツ核リヴァイアサン

一つの話の最後に対峙する存在は、いろいろなものを抱えて逝くことで物語を完結へ導く役割を担っていることが多く、この音楽も悲しみや複雑な事情を経た先に現れた元凶としての側面を彩るためのものです。その対象を穿つという勢いと存在としてのおどろおどろしさについてをしっかりと旋律と展開でもって表現することとなりました。(土屋裕一)

06 星海の女王

「戦いたくない相手と戦わなければならない」というシチュエーションを表現すべく、バトル曲でありながらも、寂しさを感じさせるような曲にしています。ヴァイオリンとピアノの主旋律が時には入れ替わり、時には同時に奏でることによって、対峙する2人の心情を表現してみようと試みてみましたが、皆さんはどのように感じられたでしょうか。(林 茂樹)

07 歪みし胎児の叫喚

武器を使用してメロディーを繋げていくという、とてもユニークなバトルで流れる曲です。とは言ってもシナリオのシチュエーションはとても幻想的でシリアスなシーンですので楽曲もそのような方向性にしています。また、どのメロディーの断片が流れて重なっても不協和音にならないように工夫して作りました。とても面白い試みだったと思います。(林 茂樹)

08 ラブソディ・アリア ～いつか還る旋律～

「ラブソディ・アリア」のアカペラバージョンです。この物語の鍵となるピチカの唄で、優しく温かみのある歌声が素敵で印象的です。歌唱の大原さやかさんは、アニメだけでなく首都圏の鉄道の駅アナウンスも多く担当されていて、私の身近な路線でもよく耳にしているいつか一緒にお仕事が出来たらなぁと思っていましたので、夢が叶ってとても嬉しいです。(山上 毅)

協奏「COMPLEX DREAM」

09 魔獣王都 ユニガルナ

「王都 ユニガン」の音楽とどこか似ているけどちょっと違う……という違和感を目指しました。編成は大きく変えずにユニガンの特徴であるオーケストラ調を残しつつも、華やかさは正反対の軍事っぽさを全面に出してパラレルワールド感を演出しています。実は打ち込みのストリングスはバイオリニストの真部裕さんにトップだけ弾いていただいて、打ち込みの音と重ねています。裏技(笑)。(マリアム・アボンナサー)

10 ミグランス地下要塞

無機質な弦の刻みや重厚感のあるパーカッションで、地下要塞感を表現してみました。最初に出したデモではテンポがもう少し速かったのですが、シーンとの兼ね合いで現在のテンポに落ち着きました。そのおかげもあり、良い塩梅の緊張感を持った楽曲に仕上げられたと思います。(土屋俊輔)

11 Perfidious Cross-border

アナザーエデンの疾走感とクロノ・クロスの変拍子を融合させたバトル曲にしてみたい、という着想で制作を始めました。また個人的にクロノ・クロスのバトル曲に入っている声のフレーズが大好きで、今回コラボということで本曲にも盛り込んでみました。声の主は何を隠そう、プロキオン・スタジオとWFSのサウンドチームの面々です。(土屋俊輔)

12 異夢・時の塔～軋んだ夢の階～

勇壮すぎず静かすぎない、それでいて緊張感のある楽曲というオーダーのあった本曲。時の塔繋がりということで、「輪廻する祈り」のフレーズがオマージュ的に少し入っています。中盤から登場するティン・ホイッスルの演奏は、アナザーエデンではすっかりお馴染みの野口明生さん。叙情的な演奏で楽曲をさらに盛り上げてくれます。(土屋俊輔)